
高山市の広報活動について

～アンケートまとめ～

令和8年1月

高山市 広報公聴課

1 はじめに

市では、市民ニーズにあった広報の手法を検討するため、市政情報の入手手段や広報紙「広報たかやま」の紙面に対する満足度など、市の広報活動に関する意識調査を実施しました。

そのアンケートの回答結果から、本報告書をとりまとめました。

2 調査の方法

アンケートの概要

実施期間：令和7年11月1日～11月30日

周知媒体：広報たかやま11月号、SNS、FMラジオ、ケーブルTV

目的：広報たかやま、市公式SNSをはじめとした広報媒体についての市民アンケートを実施し、傾向等を把握・分析することにより、より伝わる広報を目指すとともに今後の広報活動に活かす。

回答方法：LoGoフォームによる回答

3 アンケート結果

この報告書における回答率は、 $\text{回答率} = \text{回答数} / \text{標本数}$ により算出しています。各集計における割合は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100%とならない場合があります。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100%を超える場合があります。

・…情報の取得方法	3 ページ
・…広報たかやまについて	7 ページ
・…市ホームページについて	12 ページ
・…SNSについて	17 ページ
・…FMラジオについて	23 ページ
・…「ヒットネットTV」の市政番組について	25 ページ
・…今後の市の情報発信について	26 ページ

4 標本の構成

	項目	件数 (件)	構成比 (%)
性別	男性	223	45.2
	女性	258	52.3
	回答しない	12	2.4
年齢	10代以下	4	0.8
	20代	19	3.9
	30代	36	7.3
	40代	78	15.8
	50代	137	27.8
	60代	141	28.6
	70代	67	13.6
	80代以上	11	2.2

	項目	件数 (件)	構成比 (%)
居住 地域	高山地域	371	75.3
	丹生川地域	19	3.9
	清見地域	13	2.6
	荘川地域	8	1.6
	一之宮地域	9	1.8
	久々野地域	14	2.8
	朝日地域	6	1.2
	高根地域	2	0.4
上宝・ 奥飛騨温泉郷地域	国府地域	35	7.1
		16	3.2
合計		493	

5 情報の取得方法

Q4. 普段の情報取得方法で、利用頻度が高いものはどれですか（3つまで回答）

		標本数 (件)	取得方法 (%)						
			テレビ	新聞	ラジオ	インターネット	SNS	雑誌	その他
性別	男	223	70.4	16.6	16.6	74.0	61.0	8.5	0.9
	女	258	72.1	8.9	15.1	58.5	27.1	18.6	2.3
	回答しない	12	75.0	16.7	25.0	91.7	0.0	8.3	8.3
年齢	10代以下	4	100.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	20代	19	52.6	26.3	0.0	57.9	36.8	10.5	5.3
	30代	36	50.0	8.3	0.0	72.2	27.8	30.6	2.8
	40代	78	65.4	26.9	3.8	71.8	24.4	17.9	2.6
	50代	137	65.0	38.7	6.6	71.5	19.7	16.8	0.7
	60代	141	78.7	9.2	3.5	59.6	18.4	8.5	2.8
	70代	67	88.1	71.6	0.0	64.2	22.4	7.5	0.0
	80代以上	11	90.9	72.7	0.0	54.5	18.2	9.1	0.0
居住 地域	高山地域	371	70.9	43.4	14.3	65.0	23.5	13.2	1.6
	丹生川地域	19	78.9	42.1	42.1	52.6	15.8	10.5	5.3
	清見地域	13	61.5	38.5	23.1	69.2	30.8	7.7	0.0
	荘川地域	8	62.5	50.0	25.0	75.0	12.5	25.0	12.5
	一之宮地域	9	66.7	22.2	11.1	66.7	11.1	33.3	0.0
	久々野地域	14	78.6	57.1	7.1	78.6	14.3	14.3	0.0
	朝日地域	6	83.3	33.3	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0
	高根地域	2	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	国府地域	35	71.4	45.7	22.9	77.1	14.3	22.9	0.0
	上宝・ 奥飛騨温泉郷地域	16	75.0	56.3	12.5	68.8	18.8	6.3	6.3
全体	493	71.4	30.8	3.4	66.3	21.5	13.8	1.8	

傾向

- 全体として、テレビ（71.4%）とインターネット（66.3%）が主な情報源であり、新聞（30.8%）やSNS（21.5%）の利用も一定程度ある。
- 年齢が高くなるほどテレビの利用率が高くなり、若い世代ほどSNSやインターネットの利用率が高い。
- 居住地域によって大きな違いはなく、情報取得方法はテレビとインターネットの利用率が高い。
- その他には、「市民時報」「井戸端会議」「メール」「ZOOM」等があった。

Q5.災害時の情報取得方法で、利用頻度が高いものはどれですか（3つまで回答）

		標本数 (件)	取得方法 (%)					
			テレビ	新聞	ラジオ	インターネット	SNS	その他
性別	男	223	75.3	17.0	39.9	74.9	13.9	0.9
	女	258	79.8	16.7	26.4	64.3	23.6	3.9
	回答しない	12	100.0	8.3	50.0	66.7	8.3	16.7
年齢	10代以下	4	75.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0
	20代	19	63.2	5.3	21.1	68.4	26.3	0.0
	30代	36	55.6	2.8	13.9	75.0	16.7	0.0
	40代	78	76.9	7.7	24.4	71.8	20.5	3.8
	50代	137	75.2	8.0	37.2	70.8	19.0	2.2
	60代	141	84.4	25.5	39.7	66.7	17.7	4.3
	70代	67	86.6	34.3	32.8	70.1	17.9	1.5
	80代以上	11	100.0	36.4	45.5	36.4	27.3	9.1
居住 地域	高山地域	371	78.2	16.7	32.3	68.7	20.8	1.6
	丹生川地域	19	84.2	10.5	47.4	63.2	10.5	15.8
	清見地域	13	69.2	0.0	30.8	69.2	15.4	0.0
	荘川地域	8	75.0	12.5	37.5	50.0	25.0	12.5
	一之宮地域	9	77.8	0.0	11.1	66.7	22.2	0.0
	久々野地域	14	92.9	21.4	21.4	71.4	21.4	0.0
	朝日地域	6	66.7	16.7	33.3	66.7	16.7	0.0
	高根地域	2	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	国府地域	35	77.1	22.9	42.9	82.9	5.7	0.0
	上宝・ 奥飛騨温泉郷地域	16	75.0	18.8	37.5	68.8	12.5	25.0
全体		493	78.3	16.6	33.1	69.2	18.9	2.8

傾向

- 全体では、テレビ（78.3%）とインターネット（69.2%）が主な情報源であり、SNSの利用率は18.9%と比較的低い。
- 年齢が高くなるほどテレビの利用率が高くなる傾向がある。若い世代はテレビよりインターネットの利用が多い。
- 居住地域によって大きな違いはなく、テレビとインターネットが主な情報源である。
- その他には「市の情報サイト」「ヒッツFM」「結ネット」「市からのメール」等があった。

Q6.市の情報の取得方法で、利用頻度が高いものはどれですか（3つまで回答）

		標本数 (件)	取得方法 (%)									
			広報	市ホームページ	メール	SNS	Hits FM	CATV	防災行政無線	新聞・TV・ラジオ	印刷物	その他
性別	男	223	70.9	12.6	51.6	32.7	18.4	9.4	12.1	18.4	5.8	2.2
	女	258	66.7	16.7	50.0	42.6	10.5	6.2	10.1	12.8	8.1	2.7
	回答しない	12	83.3	8.3	66.7	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
年齢	10代以下	4	50.0	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	20代	19	52.6	36.8	31.6	84.2	10.5	21.1	5.3	15.8	5.3	0.0
	30代	36	41.7	38.9	41.7	66.7	8.3	5.6	5.6	0.0	11.1	11.1
	40代	78	62.8	30.8	53.8	47.4	14.1	2.6	7.7	3.8	7.7	2.6
	50代	137	70.8	41.6	54.0	40.9	11.7	9.5	6.6	16.1	8.8	0.7
	60代	141	75.2	41.8	47.5	27.0	21.3	5.7	14.2	14.9	5.0	2.8
	70代	67	77.6	52.2	59.7	20.9	6.0	10.4	19.4	26.9	6.0	3.0
	80代以上	11	81.8	45.5	54.5	0.0	18.2	9.1	18.2	54.5	0.0	0.0
居住地域	高山地域	371	66.3	40.4	52.0	39.9	13.2	6.7	10.5	15.9	6.5	3.0
	丹生川地域	19	63.2	42.1	47.4	36.8	15.8	5.3	15.8	15.8	0.0	5.3
	清見地域	13	69.2	30.8	46.2	30.8	23.1	0.0	30.8	15.4	7.7	0.0
	荘川地域	8	100.0	37.5	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0
	一之宮地域	9	100.0	33.3	55.6	44.4	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0
	久々野地域	14	71.4	57.1	64.3	28.6	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1
	朝日地域	6	66.7	33.3	66.7	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	高根地域	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	国府地域	35	82.9	37.1	51.4	37.1	14.3	14.3	2.9	14.3	14.3	0.0
	上宝・ 奥飛騨温泉郷地域	16	68.8	68.8	43.8	25.0	25.0	0.0	12.5	6.3	12.5	0.0
全体	493	69.0	41.0	51.1	38.1	13.8	7.5	10.8	15.0	6.9	2.6	

傾向

- 広報たかやまが主な情報源（69.0%）であり、次いでメール（51.1%）が高い。
- Hits FM、CATV、防災行政無線、一般の新聞/TV/ラジオ、印刷物は利用率が低い（15%以下）。
- 新聞・TV・ラジオは高齢層（70代以上）で利用率が高い。
- 前回の令和3年度調査結果では、どの年代も広報たかやまが最も高かったが、今回の結果では、若年層（10代～30代）のSNSの利用率が高くなっている。また、全体で、「市ホームページ」「メール」「SNS」が前回よりも利用の割合が高くなっており、電子媒体にシフトしている傾向がある。
- 居住地域別においては、広報たかやまがどの地域においても6割以上を占める。
- その他には「LINE」「市民時報」等があった。

Q7. イベント参加や災害時の対応など、あなたが行動を起こすきっかけとなるものはどれですか（3つまで回答）

		標本数 (件)	取得方法 (%)									
			広報	市ホームページ	メール	SNS	Hits FM	CATV	防災行政無線	新聞・テレビ・ラジオ	印刷物	その他
性別	男	223	51.1	5.8	48.4	41.7	19.7	9.0	21.5	21.5	10.3	4.0
	女	258	51.2	8.5	36.8	47.3	11.6	5.4	14.7	24.4	15.5	3.9
	回答しない	12	66.7	25.0	58.3	25.0	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0	8.3
年齢	10代以下	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20代	19	47.4	36.8	15.8	78.9	15.8	10.5	15.8	21.1	10.5	0.0
	30代	36	33.3	11.1	44.4	63.9	5.6	2.8	5.6	8.3	22.2	13.9
	40代	78	42.3	17.9	32.1	64.1	11.5	3.8	17.9	7.7	25.6	5.1
	50代	137	48.2	29.9	43.8	49.6	18.2	8.0	10.2	25.5	11.7	2.9
	60代	141	60.3	26.2	48.2	29.8	20.6	7.1	26.2	25.5	7.1	4.3
	70代	67	58.2	38.8	52.2	28.4	7.5	10.4	22.4	32.8	14.9	1.5
	80代以上	11	72.7	81.8	27.3	9.1	9.1	0.0	9.1	45.5	0.0	0.0
居住地域	高山地域	371	51.2	28.0	43.7	46.1	13.5	6.5	15.9	24.0	13.7	4.6
	丹生川地域	19	42.1	15.8	52.6	42.1	5.3	5.3	36.8	26.3	15.8	5.3
	清見地域	13	46.2	38.5	53.8	38.5	23.1	0.0	30.8	15.4	0.0	0.0
	荘川地域	8	37.5	37.5	12.5	25.0	25.0	0.0	37.5	25.0	12.5	0.0
	一之宮地域	9	66.7	33.3	44.4	55.6	0.0	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0
	久々野地域	14	42.9	42.9	50.0	35.7	14.3	14.3	14.3	21.4	21.4	0.0
	朝日地域	6	16.7	33.3	50.0	33.3	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	高根地域	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	国府地域	35	68.6	22.9	28.6	37.1	25.7	11.4	20.0	20.0	14.3	2.9
	上宝・ 奥飛騨温泉郷地域	16	50.0	31.3	37.5	43.8	25.0	0.0	6.3	18.8	12.5	6.3
全体	493	51.5	28.2	42.6	44.2	15.0	6.9	17.4	22.9	13.4	4.1	

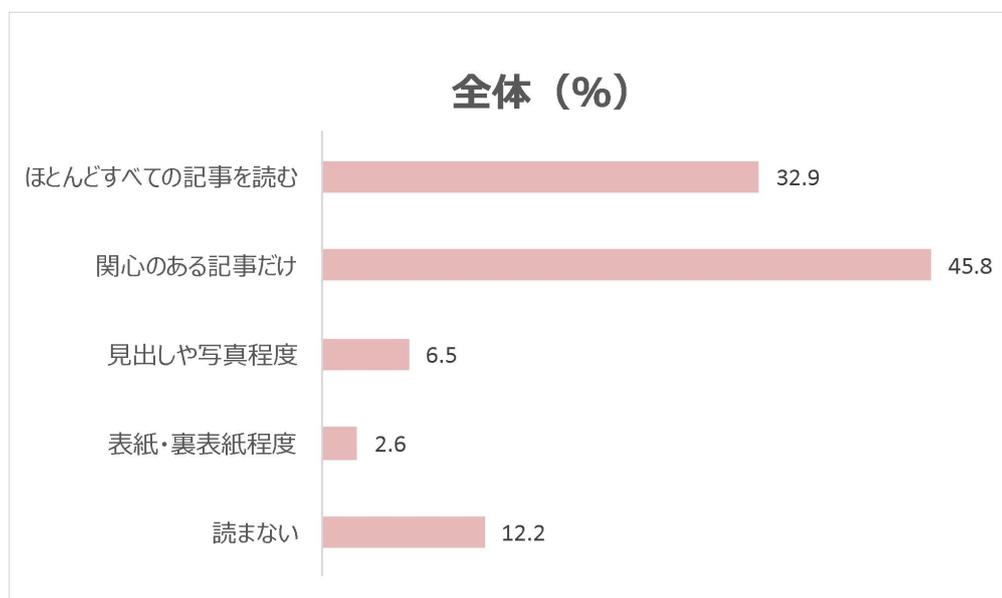
傾向

- 20代～40代はSNSが非常に高い。一方で、広報たかやまや市ホームページなどの利用率は、高齢層（60代以上）に比べて低い。
- 60代以上は広報たかやまが高く、80代以上では、広報たかやま（72.7%）や市ホームページ（81.8%）が圧倒的な情報源となっている。
- 居住地域別においては、広報たかやまが最も高い地域が多いが、地域による大きな差異はない。
- その他には、「LINE」「市民時報」等があった。

6 広報たかやまについて

Q8.広報たかやまを読んでいますか

	年齢 (%)								
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
標本数 (件)	4	19	36	78	137	141	67	11	493
ほとんどすべての記事を読む	0.0	15.8	19.4	30.8	34.3	30.5	44.8	72.7	32.9
関心のある記事だけ	25.0	52.6	41.7	41.0	45.3	53.9	41.8	18.2	45.8
表紙・裏表紙程度	0.0	0.0	2.8	3.8	3.6	0.7	3.0	9.1	2.6
見出しや写真程度	25.0	5.3	8.3	5.1	5.8	7.1	7.5	0.0	6.5
読まない	50.0	26.3	27.8	19.2	10.9	7.8	3.0	0.0	12.2



傾向

- 「関心のある記事だけ読む」が 45.8% と最も多く、次いで「ほとんどすべての記事を読む」が 32.9% となっている。合計すると約 78.7% の人が内容をある程度確認している一方で、12.2% は「読まない」と回答している。
- 70代・80代以上は「ほとんどすべての記事を読む」が最も高く、20代～60代は「関心のある記事だけ読む」が最も高い。年代が上がるほど精読率が高まり、若年層ほど読まない傾向がある。

Q9.広報たかやまを読まない理由は何ですか（「読まない」を選択：68人）

理由（％）	
読みにくい	4.4
読む時間がない	22.1
読みたい情報がない	23.5
市の情報を必要としない	4.4
その他	45.6

傾向

- 「読みたい情報がない」が 23.5% と、選択肢の理由の中では最も多く、市民が求めている情報と提供している内容にギャップが生じている可能性がある。
- 「読む時間がない」が 22.1% と僅差で続いている。
- 全体の半数近くが「その他」を選択しており、その内容は「自宅に届かない」がほとんどであった。

Q10.広報たかやまの紙面で改善してほしいことはありますか（複数可）

改善してほしい項目（％）	
どこに何の情報が記載してあるか分かりにくい	38.3
デザインや色が読みにくい	7.9
文字の大きさや色が読みにくい	10.5
文章や言葉が分かりにくい	5.3
文章量が多い	0.0
写真・イラストが少ない	13.0
ページ数が多い	6.3
その他	25.8

傾向

- 「どこに何の情報が記載してあるか分かりにくい」が 38.3%と突出して多く、情報を探しにくい構造になっている可能性がある。
- 「文章量が多い」は 0.0% である。
- その他には、「改善してほしい点はない」「月に 2 回の配布を希望」等があった。

Q11. 広報たかやまで読みたい記事、得たい情報は何か（複数可）

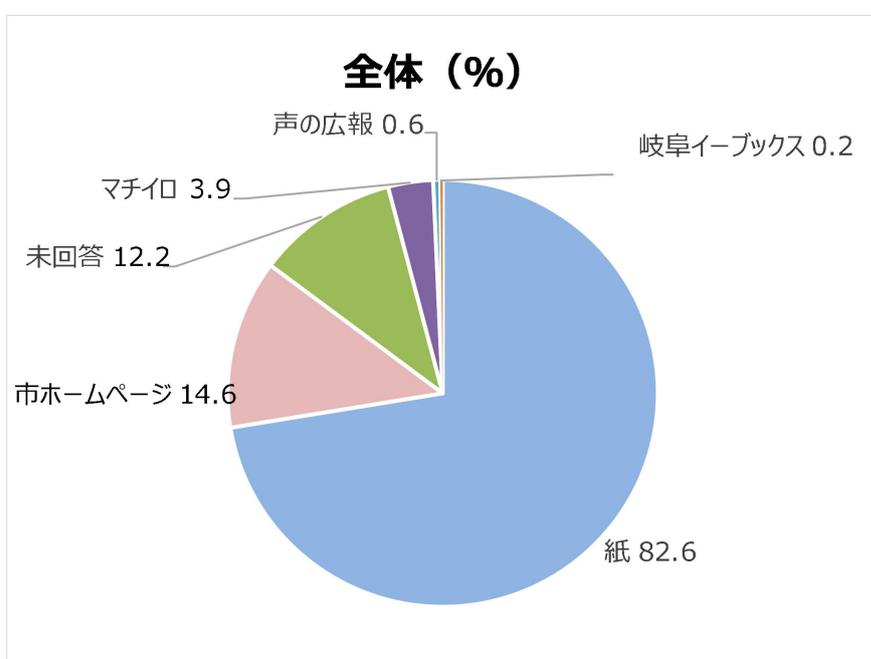
	年齢 (%)								
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
標本数 (件)	4	19	36	78	137	141	67	11	493
市の新しい制度や施策	50.0	47.4	61.1	57.7	71.5	59.6	56.7	72.7	62.1
市の計画や主な事業	50.0	52.6	41.7	38.5	43.1	35.5	52.2	18.2	41.2
イベント・講座の開催情報	25.0	68.4	61.1	61.5	58.4	60.3	50.7	18.2	57.8
生涯学習情報	0.0	10.5	13.9	12.8	19.7	16.3	9.0	0.0	14.8
子育て・教育情報	0.0	36.8	58.3	46.2	11.7	5.0	3.0	0.0	18.1
健康・保健情報	25.0	31.6	25.0	26.9	27.0	34.8	32.8	18.2	29.8
高齢者・福祉情報	0.0	5.3	11.1	17.9	22.6	35.5	43.3	54.5	27.4
防災情報	75.0	21.1	27.8	29.5	37.2	32.6	26.9	18.2	31.8
ごみ・環境情報	25.0	21.1	27.8	21.8	33.6	22.0	19.4	18.2	25.2
その他	0.0	0.0	8.3	3.8	5.1	3.5	0.0	0.0	3.7

傾向

- 全体のニーズとして「市の新しい制度や施策（62.1%）」が最も高く、次いで「イベント・講座の開催情報（57.8%）」「市の計画や主な事業（41.2%）」となっている。
- また「防災情報（31.8%）」「健康・保健情報（29.8%）」「ごみ・環境情報（25.2%）」は特定の世代に偏らず、安定したニーズがある。
- 「子育て・教育情報」が20代（36.8%）、30代（58.3%）、40代（46.2%）と高く、他の世代（50代以降は11%以下）と明確な差が出ている。
- 「高齢者・福祉情報」への関心が年代とともに上昇し、80代以上では54.5%に達している。
- その他には、「地域の情報」「害獣情報」等があった。

Q12.広報たかやまをどの方法で読んでいますか（複数可）

	年齢 (%)								
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
標本数 (件)	4	19	36	78	137	141	67	11	493
紙	50.0	68.4	69.4	75.6	82.5	88.7	88.1	100.0	82.6
市ホームページ	25.0	15.8	16.7	15.4	12.4	11.3	20.9	27.3	14.6
声の広報	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.4	0.0	0.0	0.6
マチイロ (アプリ)	0.0	0.0	2.8	0.0	5.1	3.5	7.5	9.1	3.9
岐阜イーブックス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.2
回答なし	50.0	26.3	27.8	19.2	10.9	7.8	3.0	0.0	12.2

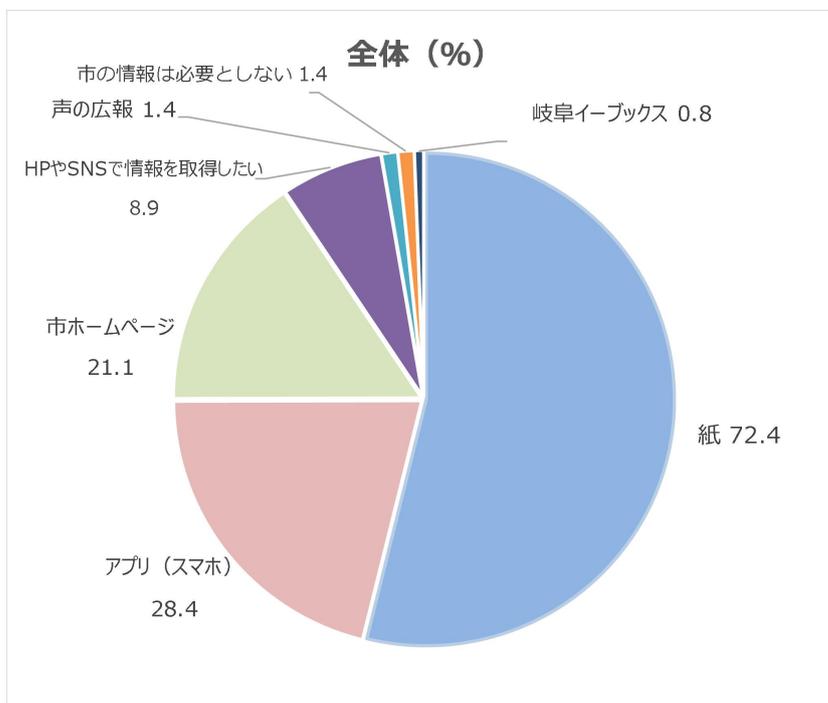


傾向

- 全体では、8割以上が「紙」で閲覧しておりメイン媒体となっている。
- 年代別においては、「紙」の利用率は年齢が上がるともに高くなっており、特に50代～80代以上は80%～100%に達している。
- デジタルでの閲覧方法としては「市ホームページ」が最も選ばれているが、紙媒体と比べると大きな差がある。特に80代以上（27.3%）、10代以下（25.0%）、70代（20.9%）で利用がある。
- マチイロ（アプリ）は、全体では3.9%となっているが、80代以上（9.1%）や70代（7.5%）で利用されている傾向がある。

Q13.今後、広報たかやまをどの方法でよみたいですか（複数可）

	年齢 (%)								
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
標本数 (件)	4	19	36	78	137	141	67	11	493
紙	50.0	63.2	58.3	65.4	74.5	78.0	77.6	63.6	72.4
市ホームページ	25.0	42.1	30.6	23.1	16.1	19.1	20.9	27.3	21.1
声の広報	0.0	5.3	2.8	0.0	2.2	1.4	0.0	0.0	1.4
アプリ (スマホ)	0.0	47.4	27.8	33.3	29.2	25.5	20.9	45.5	28.4
岐阜イーブックス	0.0	5.3	0.0	2.6	0.0	0.7	0.0	0.0	0.8
HPやSNSで市の情報を取得したい	25.0	0.0	22.2	12.8	8.8	5.0	9.0	0.0	8.9
市の情報は必要としない	0.0	0.0	2.8	3.8	1.5	0.7	0.0	0.0	1.4



傾向

- 前設問 (Q12) の「現在の閲覧方法」と比較すると、紙媒体 (72.4%) が現在の利用率 (82.6%) からは減少するものの、依然として全体の7割以上が「紙」での閲覧を希望している。
- 年代別においては、「紙」が50代～70代で70%台と高い一方で、10代～40代は50%～65%まで低下している。
- 「紙」の次に高いのが、「アプリ (スマホ)」28.4%、「市ホームページ」21.1%となっており、デジタルへの移行も求められている。
- 「市ホームページやSNSがあれば広報たかやまは不要」8.9%や「情報自体不要」1.4%という意見は合わせて約1割に留まっている。

7 市ホームページについて

Q14.市の情報を取得したいときに、市のホームページを利用しますか

	年齢 (%)								
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
標本数 (件)	4	19	36	78	137	141	67	11	493
よく利用する	50.0	26.3	16.7	21.8	21.2	10.6	20.9	36.4	18.7
内容によって利用する	25.0	68.4	80.6	69.2	73.0	79.4	68.7	54.5	73.2
利用しない	25.0	5.3	2.8	9.0	5.8	9.9	10.4	9.1	8.1

傾向

- 全体の73.2%が「内容によって利用する」と回答している。「利用しない」はわずか8.1%に留まっている。
- 80代以上は「よく利用する」が36.4%と高い。30代(80.6%)や60代(79.4%)においては「内容によって利用する」が高いが、年齢による大きな差はない。

Q15.どのような情報を得るために市のホームページを利用しますか (複数可)

	年齢 (%)								
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
標本数 (件)	4	19	36	78	137	141	67	11	493
市役所での手続きの情報	0.0	52.6	72.2	55.1	55.5	46.1	31.3	45.5	49.9
行政サービスの情報	25.0	57.9	75.0	55.1	56.2	48.9	49.3	27.3	53.5
公共施設の情報取得・予約	0.0	21.1	19.4	16.7	20.4	15.6	25.4	0.0	18.5
防災・災害情報	75.0	36.8	47.2	37.2	43.1	37.6	41.8	18.2	40.2
市の制度や施策	0.0	31.6	36.1	21.8	29.2	16.3	31.3	9.1	24.5
市の事業・統計データなど	0.0	26.3	16.7	12.8	16.1	9.2	19.4	0.0	14.0
その他	0.0	5.3	2.8	1.3	2.9	1.4	3.0	0.0	2.2

傾向

- 全体で、「行政サービスの情報 (53.5%)」と「市役所での手続きの情報 (49.9%)」と「防災・災害情報 (40.2%)」が高い割合を占める。
- 30代は「行政サービスの情報 (75.0%)」、および「市役所での手続きの情報 (72.2%)」が全世代で最も高く、子育てや生活に関連する手続きを積極的に調べていると考えられる。
- 50代までは、「行政サービスの情報」が50%を上回る高い水準を維持している。80代以上は「市役所での手続き (45.5%)」が高い。

- 「市の事業・統計データなど」は全体で 14.0%と低く、特に 60 代（9.2%）や 80 代以上（0.0%）で低い。
- その他には、「消防車の出動情報」等があった。

Q16.市のホームページの情報は分かりやすいですか／Q17.分かりにくい理由は何ですか（複数可）

	年齢 (%)								
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
標本数 (件)	4	19	36	78	137	141	67	11	493
とても分かりやすい	50.0	10.5	0.0	3.8	5.1	1.4	6.0	0.0	4.1
分かりやすい	50.0	73.7	52.8	56.4	60.6	66.0	59.7	81.8	61.7
分かりにくい	0.0	15.8	30.6	33.3	26.3	30.5	32.8	18.2	29.0
とても分かりにくい	0.0	0.0	13.9	5.1	6.6	2.1	1.5	0.0	4.5
未回答	0.0	0.0	2.8	1.3	1.5	0.0	0.0	0.0	0.8

分かりにくい理由 (%)	
専門用語が多い	21.2
デザイン・色使いが見づらい	24.8
説明が不足している	40.6
文章が分かりにくい	29.1

傾向

- 全体で約 3 分の 2 の利用者が「分かりやすい」と感じている一方で、残りの約 3 割強が何らかの不満を抱いており、その主な要因は「説明の不足（40.6%）」となっている。
- 年代別においては、30 代～70 代は約 3 割～4 割が「分かりにくい」か「とても分かりにくい」と回答している。特に 30 代は「分かりにくい（30.6%）」と「とても分かりにくい（13.9%）」を合わせると 44.5%に達している。

Q18.市のホームページに掲載している情報をどのように探しますか（複数可）

	年齢 (%)								
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
標本数 (件)	4	19	36	78	137	141	67	11	493
市HPの分類から	25.0	42.1	44.4	44.9	38.7	51.8	53.7	90.9	47.1
市HPの検索ボックスから	0.0	31.6	22.2	28.2	48.9	31.2	28.4	9.1	33.9
GoogleやYahoo!などの検索サイトから	50.0	47.4	61.1	33.3	25.5	16.3	16.4	0.0	26.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.4
未回答	25.0	5.3	2.8	9.0	5.8	9.9	10.4	9.1	8.1

傾向

- 全体では、「市ホームページの分類から (47.1%)」が最も高い。
- 10代~30代は「Google等の検索サイトから」が最も高く、40代~80代以上は市ホームページ内の機能（分類・検索ボックス）の利用率が高く、年齢によって検索方法が異なる傾向がある。
- Q18のその他は、「ネットを利用しない」等があった。

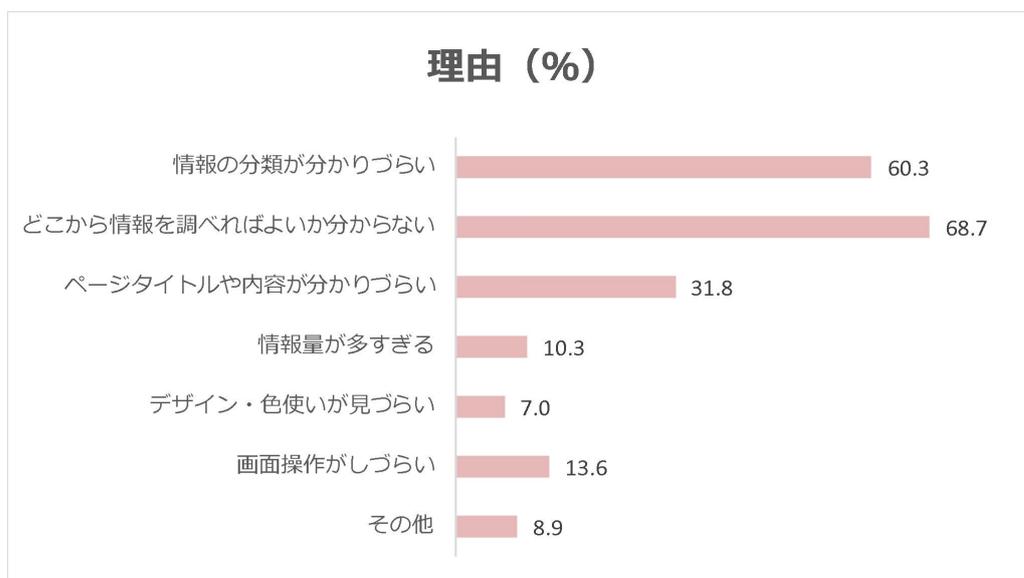
Q19.市のホームページの情報は探しやすいですか

	年齢 (%)								
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
標本数 (件)	4	19	36	78	137	141	67	11	493
とても探しやすい	50.0	5.3	0.0	3.8	2.2	0.0	3.0	0.0	2.2
探しやすい	25.0	47.4	44.4	37.2	49.6	44.0	47.8	63.6	45.4
探しにくい	0.0	42.1	44.4	41.0	30.7	39.7	38.8	27.3	37.1
とても探しにくい	0.0	0.0	8.3	9.0	10.9	4.3	0.0	0.0	6.3
情報を得られなかった	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.6
未回答	25.0	5.3	2.8	9.0	6.6	9.9	10.4	9.1	8.3

傾向

- 情報の探しやすさは、全体で「とても探しやすい (2.2%)」と「探しやすい (45.4%)」の肯定的評価（計 47.6%）と「探しにくい (37.1%)」と「とても探しにくい (6.3%)」の否定的評価（計 43.4%）に分かれている。
- 約 4 割強の利用者が「情報の探しにくさ」を感じており、特に 30代~40代においては、否定的評価が 5 割を超えている。50代は「とても探しにくい (10.9%)」が全世代で最も高い。

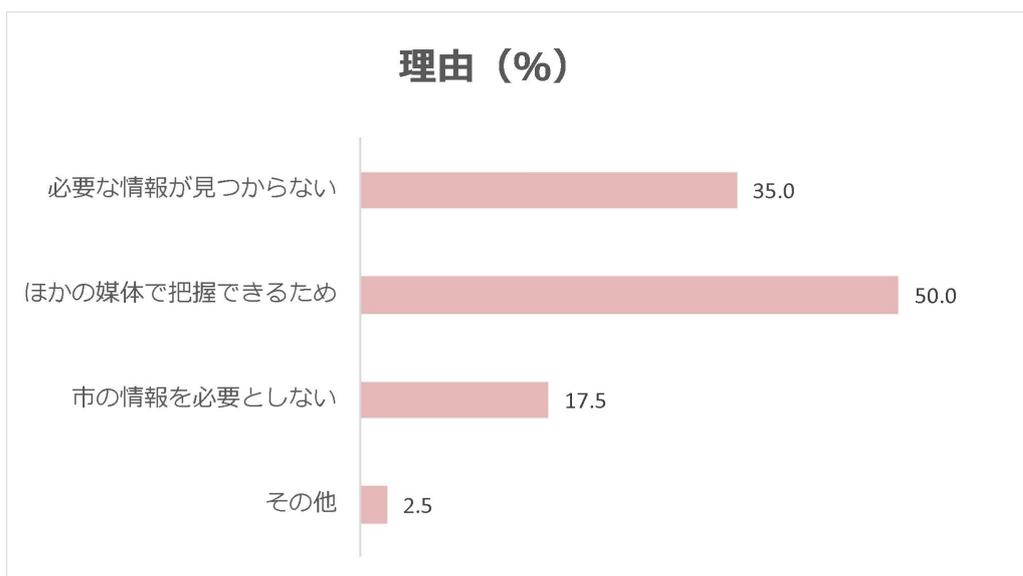
Q20.市ホームページの情報を探しにくい理由は何ですか（複数可）



傾向

- 探しにくい理由は「どこから情報を調べればよいか分からない（68.7％）」が最多であり、次いで「情報の分類が分かりづらい（60.3％）」となっている。
- その他には、「情報発信の遅さ」「キーワード検索でヒットしない」「情報が少ない」「URL がどの手続きに繋がるか分かりにくい」等があった。

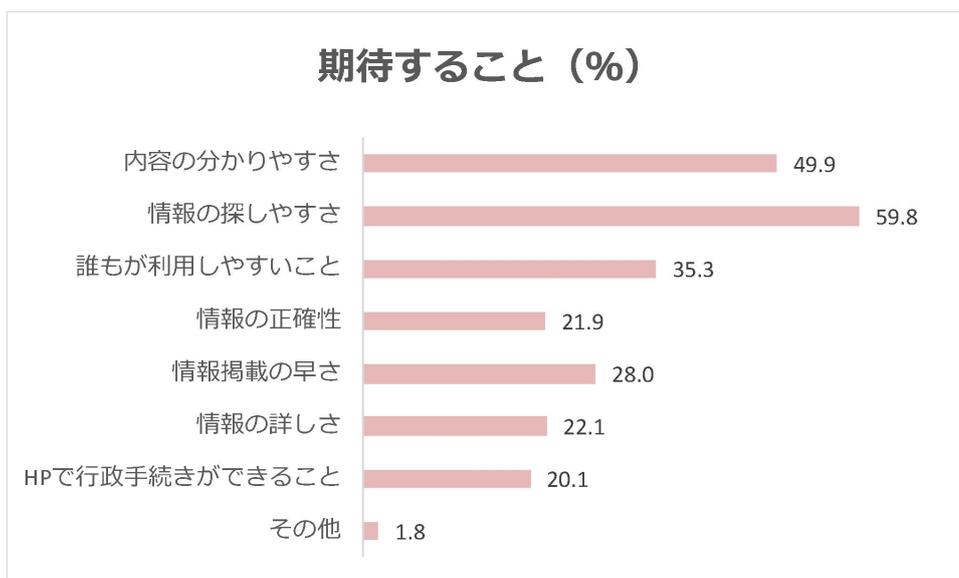
Q21.市ホームページを利用しない理由は何ですか



傾向

- 市ホームページを利用しない理由は「ほかの媒体で把握できるため」が半数を占め、他の情報源が優先されている。また、「必要な情報が見つからない（35.0%）」という回答から、一度利用を試みたものの、情報の探しにくさゆえに利用を断念した方がいることが推測される。
- その他の記述欄は未回答であった。

Q22.今後、市のホームページに期待することは何ですか（複数可）



傾向

- Q20の探しにくい理由（不満点）と今後の期待項目の内容が一致しているため、「情報の整理」と「内容の平易化」を重点的に見直すことが求められる。
- その他には「活用できるようにPDFでなくエクセルやワードで資料を掲載してほしい」「外国語表記の情報を見やすくしてほしい」「災害時の地図の掲載を分かりやすくしてほしい（大雨時の断水の恐れ）」等があった。

8 SNS について

Q23. 普段、利用している SNS を教えてください（複数可）

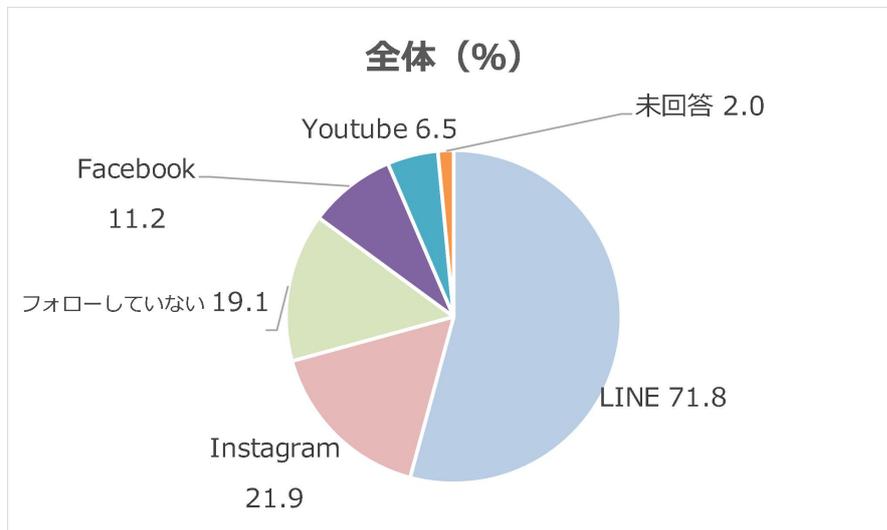
		標本数 (件)	SNSの種類 (%)							
			LINE	Facebook	X (旧Twitter)	Instagram	YouTube	TikTok	利用していない	その他
性別	男	223	87.9	3.6	32.7	44.8	57.4	13.5	3.6	2.2
	女	258	98.4	2.3	27.1	57.4	56.6	15.9	0.4	1.6
	回答しない	12	100.0	0.0	8.3	41.7	50.0	16.7	8.3	0.0
年齢	10代以下	4	100.0	0.0	50.0	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20代	19	89.5	26.3	68.4	94.7	89.5	47.4	0.0	0.0
	30代	36	94.4	16.7	61.1	80.6	72.2	8.3	0.0	2.8
	40代	78	93.6	32.1	35.9	75.6	50.0	24.4	1.3	2.6
	50代	137	94.9	33.6	35.8	60.6	65.7	16.8	2.2	0.7
	60代	141	92.2	18.4	14.2	31.9	51.8	11.3	2.1	3.5
	70代	67	94.0	25.4	13.4	23.9	43.3	4.5	4.5	0.0
	80代以上	11	100.0	27.3	9.1	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0
全体		493	93.7	26.0	29.2	51.3	56.8	14.8	2.0	1.8

傾向

- LINE が全体で 93.7% の利用と圧倒的な普及率を誇っており、次いで YouTube (56.8%)、Instagram (51.3%) が続く構造になっている。X (29.2%)、Facebook (26.0%)、TikTok (14.8%) は 3 割以下に留まる。
- YouTube は 80 代以上を除き、すべての年代で高い利用率となっている。
- TikTok は 全体では 14.8% だが、20 代 (47.4%) で非常に高い。
- Facebook は 40 代・50 代においては 3 割を超えている。
- その他には「mixi」「Threads」等があった。

Q24.高山公式 SNS のうち、フォローしているものを教えてください。（複数可）

	年齢 (%)								
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
標本数 (件)	4	19	36	78	137	141	67	11	493
LINE	75.0	73.7	72.2	66.7	74.5	68.8	74.6	90.9	71.8
Facebook	0.0	0.0	0.0	23.1	16.1	7.1	6.0	9.1	11.2
Instagram	0.0	36.8	38.9	30.8	29.9	10.6	10.4	0.0	21.9
Youtube	25.0	5.3	11.1	0.0	6.6	6.4	10.4	9.1	6.5
フォローしていない	0.0	15.8	16.7	17.9	18.2	23.4	17.9	9.1	19.1
未回答	0.0	0.0	0.0	1.3	2.2	2.1	4.5	0.0	2.0



傾向

- LINE は全体で 71.8%がフォローしており、2 位の Instagram (21.9%) と 3 倍以上の差となっている。
- 全体の 19.1%は、どの公式 SNS もフォローしていない。
- Instagram は 30 代 (38.9%) や 20 代 (36.8%) で高く、60 代で 10.6%まで下がり、80 代以上では 0%である。
- Facebook は 40 代 (23.1%) で突出しており、30 代以下では 0%である。
- 前設問 Q23 の「普段利用している SNS」と「公式をフォローしている SNS」を比較すると普段 YouTube を利用している人は全体で 56.8%に上るが、高山市の公式 YouTube をフォローしているのはわずか 6.5%に留まる。LINE は普段利用している人の多くが、そのまま市の公式アカウントもフォローしておりツールとして定着していることが推測できる。

Q25.高山市公式 SNS でフォローしているもののうち、一番見るものを教えてください（複数可）

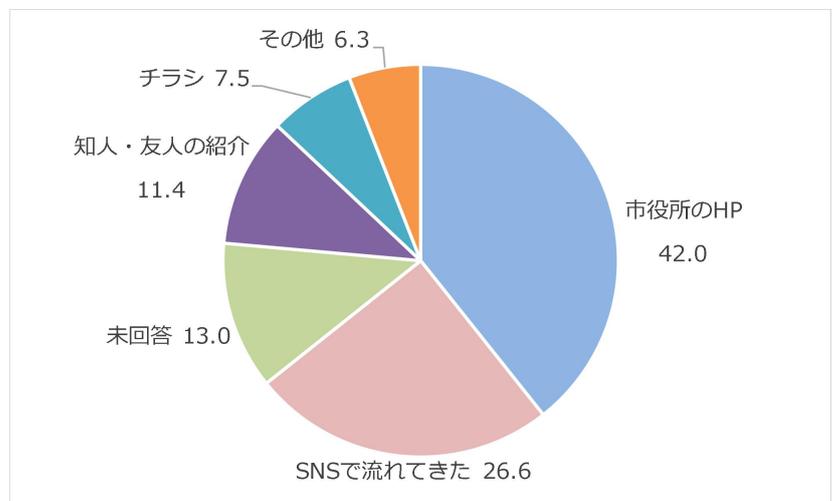
	年齢 (%)								
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
標本数 (件)	4	19	36	78	137	141	67	11	493
LINE	75.0	57.9	63.9	62.8	59.9	66.0	76.1	90.9	65.3
Facebook	0.0	0.0	0.0	7.7	8.0	4.3	3.0	0.0	5.1
Instagram	0.0	31.6	27.8	24.4	21.2	7.1	6.0	0.0	15.8
Youtube	0.0	5.3	0.0	0.0	4.4	5.0	6.0	0.0	3.7
X	0.0	0.0	2.8	5.1	5.8	1.4	1.5	0.0	3.2
未回答	25.0	10.5	16.7	16.7	19.0	26.2	17.9	9.1	19.9

傾向

- LINE が全体で 65.3%と圧倒的に多い。
- 前設問 Q24 の「フォローしているもの」と比較すると、Instagram は 20 代～50 代では約 3 割の人がフォローしており、そのうち「一番見る」と答えた人も 2 割強～3 割弱で、Instagram が重要な情報源となっている。
- また Facebook をフォローしている人は全体で 11.2%（Q24）だったが、「一番見る」と答えたのは 5.1%に減少する。Youtube も同様に Q24 では 6.5%だったが、「一番見る」と答えたのは 3.7%に半減する。

Q26.高山市の SNS を知ったきっかけ（フォローしたきっかけ）を教えてください

きっかけ (%)	
SNSで流れてきた	26.6
市役所のHP	42.0
チラシ	7.5
知人・友人の紹介	11.4
その他	6.3
未回答	13.0



傾向

- 「市役所のホームページ」が4割を占める。次いで「SNSを見ていて投稿が流れてきた」となっている。
- その他には、「覚えていない」「広報たかやま」等があった。

Q27.高山市のSNSは分かりやすいですか／Q28.現在の高山市SNSの投稿頻度はいかがですか

分かりやすさ (%)	
とても分かりやすい	3.9
分かりやすい	48.5
分かりにくい	6.7
とても分かりにくい	0.6
未回答	59.6

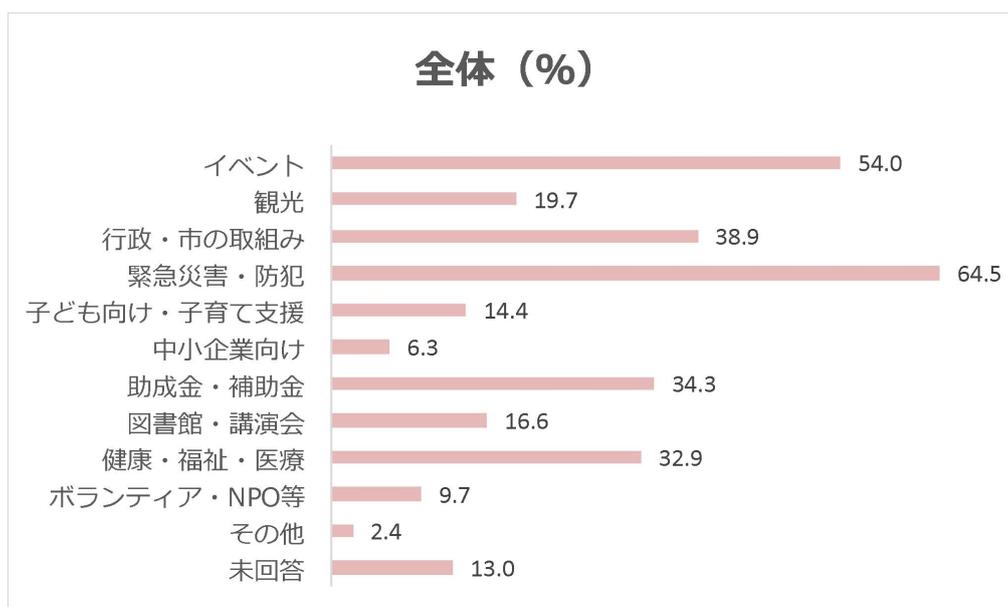
投稿頻度 (%)	
とても多い	1.2
多い	33.3
少ない	22.7
とても少ない	2.4
未回答	40.4

傾向

- 分かりやすさでは、肯定的な評価である「とても分かりやすい (3.9%)」と「分かりやすい (48.5%)」を合わせると52.4%に達する。一方で否定的な評価である「分かりにくい (6.7%)」と「とても分かりにくい (0.6%)」の合計は7.3%と少数に留まる。
- SNSの投稿頻度については、多いと感じる層（「とても多い (1.2%)」と「多い (33.3%)」の計34.5%）と、少ないと感じる層（「少ない (22.7%)」と「とても少ない (2.4%)」の計25.1%）で意見が分かれる。
- どちらの項目も「未回答」が約4割～6割と非常に高く、SNSを見ていない層や、内容を意識するほど深く読み込んでいない層が一定数いると推測できる。

Q29.高山市の SNS からどのような情報を得たいですか（複数可）

		標本数 (件)	取得したい情報 (%)											
			イベント	観光	行政 市の取組み	緊急災害 防犯	子ども向け 子育て支援	中小企業 向け	助成金 補助金	図書館 講演会	健康・福祉 医療	ボランティア NPO等	その他	未回答
性別	男	223	43.9	0.0	44.8	56.1	5.8	6.7	30.9	11.2	22.9	4.9	2.7	17.0
	女	258	63.2	0.0	33.7	71.3	22.1	5.8	37.6	20.9	41.1	2.3	2.3	9.7
	回答しない	12	41.7	0.0	41.7	75.0	8.3	8.3	25.0	25.0	41.7	0.0	0.0	8.3
年齢	10代以下	4	25.0	25.0	75.0	75.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	19	63.2	36.8	52.6	57.9	26.3	10.5	47.4	21.1	26.3	15.8	10.5	5.3
	30代	36	61.1	13.9	30.6	72.2	50.0	5.6	38.9	25.0	19.4	8.3	5.6	8.3
	40代	78	69.2	29.5	38.5	69.2	35.9	9.0	37.2	17.9	32.1	10.3	5.1	3.8
	50代	137	55.5	22.6	46.7	68.6	8.8	9.5	38.7	13.9	26.3	10.2	2.2	13.9
	60代	141	51.1	17.7	29.8	55.3	5.7	2.8	28.4	17.0	37.6	9.9	0.7	19.9
	70代	67	41.8	7.5	41.8	67.2	0.0	3.0	32.8	14.9	43.3	7.5	0.0	13.4
	80代以上	11	9.1	0.0	36.4	63.6	0.0	0.0	9.1	9.1	63.6	9.1	0.0	9.1
全体		493	54.0	19.7	38.9	64.5	14.4	6.3	34.3	16.6	32.9	9.7	2.4	13.0



傾向

- 全体では、「緊急災害・防犯（64.5%）」「イベント（54.0%）」「行政・市の取組み（38.9%）」への関心が高い。
- 年代別においては、20代～40代は「イベント」や「子ども向け・子育て支援」への関心が他世代より高く、70代以上は「健康・福祉・医療」への関心が高くなっている。
- その他には、「熊情報」「市のニュース」等があった。

Q30.高山市の SNS は友人・知人などおすすめできますか

すすめたいか (%)	
とてもおすすめしたい	4.1
おすすめしたい	64.9
おすすめしたいしくない	15.8
とてもおすすめしくない	2.2
未回答	13.0

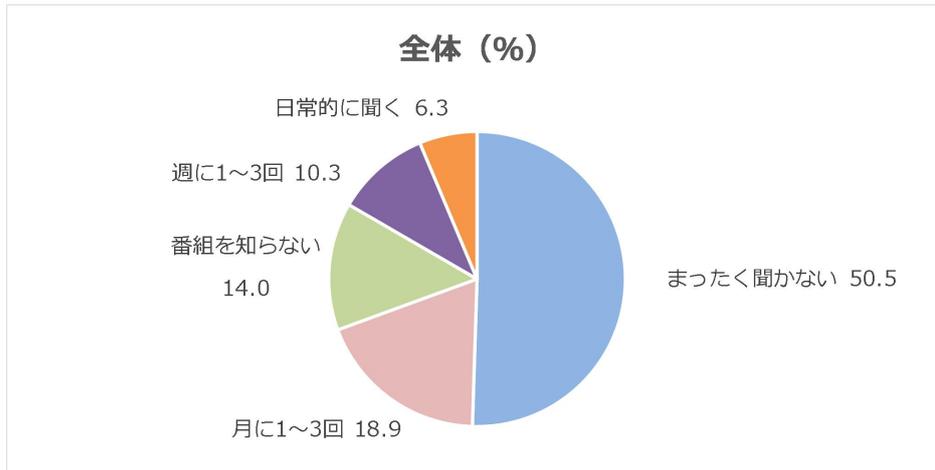
傾向

- 「とてもおすすめしたい (4.1%) 」と「おすすめしたい (64.9%) 」の計 69.0%が他者にすすめる価値があると回答しており、約 7 割が肯定的な印象を持っている。
- 一方で「おすすめしくない (15.8%) 」と「とてもおすすめしくない (2.2%) 」の約 2 割弱が消極的な印象を持っている。

9 FM ラジオについて

Q31. ヒッツ FM で市政番組をどれくらいの頻度で聞きますか

		標本数 (件)	取得方法 (%)				
			日常的に聞く	週に1~3回	月に1~3回	まったく聞かない	番組を知らない
性別	男	223	8.1	13.9	23.8	40.8	13.5
	女	258	4.7	7.4	14.3	59.3	14.3
	回答しない	12	8.3	8.3	25.0	41.7	16.7
年齢	10代以下	4	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0
	20代	19	0.0	5.3	21.1	52.6	21.1
	30代	36	2.8	2.8	5.6	55.6	33.3
	40代	78	9.0	10.3	9.0	56.4	15.4
	50代	137	7.3	7.3	21.9	49.6	13.9
	60代	141	7.1	14.9	25.5	44.7	7.8
	70代	67	4.5	10.4	17.9	56.7	10.4
	80代以上	11	0.0	27.3	18.2	45.5	9.1
居住地域	高山地域	371	5.1	9.4	19.1	51.8	14.6
	丹生川地域	19	15.8	15.8	26.3	31.6	10.5
	清見地域	13	15.4	7.7	23.1	38.5	15.4
	荘川地域	8	25.0	0.0	37.5	25.0	12.5
	一之宮地域	9	0.0	22.2	0.0	66.7	11.1
	久々野地域	14	7.1	7.1	28.6	35.7	21.4
	朝日地域	6	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7
	高根地域	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	国府地域	35	5.7	20.0	14.3	51.4	8.6
	上宝・ 奥飛騨温泉郷地域	16	6.3	6.3	6.3	68.8	12.5
全体	493	6.3	10.3	18.9	50.5	14.0	



傾向

- 全体として、「まったく聞かない」と「番組を知らない」が合計 64.5%にのぼり、市政番組の認知度と習慣的な聴取の低さが窺える。特に 10 代～40 代は「まったく聞かない」と「知らない」を合わせると 7 割～8 割を超えている。
- 40 代以上は「週に 1～3 回」と「日常的に聞く」が若年層と比べて高い。
- 居住地域別においては、荘川地域の聴取率（日常的+週に 1～3 回+月に 1～3 回）は計 62.5%で、丹生川地域（計 57.9%）や朝日地域（計 50.1%）も聴取率が 5 割を超えている。
- 一方で、「まったく聞かない」「番組を知らない」の合計が 5 割以上になる地域も多く、地域によって差がある。

Q32.インターネットサイマルラジオ放送で、ラジオ（ヒッツ FM）を聞きますか

頻度 (%)	
日常的に聞く	4.1
週に1~3回	4.9
月に1~3回	7.9
まったく聞かない	83.2

傾向

- 「まったく聞かない」が 8 割を超えており、市民に定着していない傾向がある。
- 前設問 Q31 の結果では、市政番組を「週 1 回以上聞く」層が全体で 16.6%（日常的 6.3% + 週 1～3 回 10.3%）であったが、これに対し、インターネットで「週 1 回以上聞く」層は合計 9.0%に留まっているため、インターネット経由ではなく従来のラジオ機器で聴取している方が多いと推測できる。

10 ケーブルテレビ「ヒットネット TV」の市政番組について（毎月第 1・3 水金日に放送）

Q33.ヒットネット TV で市政番組を視聴しますか

		標本数 (件)	視聴頻度 (%)				
			日常的に	たまに	まったく見ない	番組を知らない	CATV未加入
性別	男	223	3.1	31.8	22.0	7.2	35.9
	女	258	1.6	20.2	23.3	8.9	46.1
	回答しない	12	8.3	25.0	16.7	8.3	41.7
年齢	10代以下	4	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0
	20代	19	0.0	31.6	21.1	5.3	42.1
	30代	36	2.8	13.9	25.0	11.1	47.2
	40代	78	1.3	23.1	29.5	9.0	37.2
	50代	137	5.1	24.1	16.8	8.8	45.3
	60代	141	2.1	27.7	22.0	8.5	39.7
	70代	67	0.0	34.3	25.4	6.0	34.3
	80代以上	11	0.0	18.2	27.3	0.0	54.5
居住地域	高山地域	371	1.9	21.8	20.8	8.4	47.2
	丹生川地域	19	5.3	21.1	36.8	5.3	31.6
	清見地域	13	0.0	15.4	15.4	7.7	61.5
	荘川地域	8	0.0	62.5	25.0	0.0	12.5
	一之宮地域	9	11.1	55.6	22.2	0.0	11.1
	久々野地域	14	0.0	57.1	28.6	14.3	0.0
	朝日地域	6	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	高根地域	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	国府地域	35	8.6	37.1	31.4	11.4	11.4
	上宝・ 奥飛騨温泉郷地域	16	0.0	25.0	18.8	6.3	50.0
全体	493	2.4	25.6	22.5	8.1	41.4	

傾向

- 全体では「CATV 未加入」が 41.4%と大きな割合を占める。加入者の中では、熱心な視聴層よりも「たまに見る」層が多い傾向である。
- 年代別においては、「日常的に」「たまに」を合わせた視聴率で見ると、20代・50代～70代が約3割程度である。特に「日常的に」見るが高いのは50代となっている。「たまに」見るが高いのは20代（31.6%）と70代（34.3%）であった。
- 居住地域別においては、朝日地域（66.7%）、荘川地域（62.5%）、久々野地域（57.1%）、一之宮地域（66.7%）が「日常的＋たまに」の合計視聴率が非常に高い。

11 今後の市の情報発信について

Q34. 今度、どのような方法で市の情報を取得したいですか（複数可）

		標本数 (件)	取得方法 (%)									
			広報	市ホームページ	メール	SNS	ヒッツFM	CATV	防災行政無線	新聞・TV・ラジオ	印刷物	その他
性別	男	223	63.2	10.3	42.2	52.9	18.4	12.1	9.9	14.3	5.4	2.2
	女	258	67.1	9.7	39.9	61.2	11.2	8.9	13.2	13.6	9.7	1.2
	回答しない	12	75.0	25.0	58.3	50.0	8.3	8.3	16.7	16.7	25.0	8.3
年齢	10代以下	4	75.0	50.0	50.0	75.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	20代	19	52.6	42.1	21.1	84.2	21.1	15.8	10.5	21.1	10.5	0.0
	30代	36	50.0	55.6	33.3	80.6	5.6	11.1	13.9	11.1	11.1	2.8
	40代	78	61.5	48.7	41.0	70.5	10.3	10.3	7.7	1.3	12.8	3.8
	50代	137	63.5	49.6	42.3	66.4	15.3	9.5	13.1	17.5	9.5	2.2
	60代	141	72.3	48.2	43.3	43.3	19.1	9.2	10.6	14.2	5.0	1.4
	70代	67	71.6	49.3	43.3	38.8	11.9	13.4	13.4	19.4	6.0	0.0
	80代以上	11	63.6	45.5	54.5	9.1	9.1	9.1	18.2	18.2	0.0	0.0
居住地域	高山地域	371	63.6	49.1	41.5	58.8	14.0	9.4	11.1	14.3	7.8	1.6
	丹生川地域	19	68.4	52.6	52.6	52.6	31.6	15.8	21.1	15.8	10.5	5.3
	清見地域	13	76.9	76.9	38.5	61.5	15.4	7.7	23.1	7.7	0.0	0.0
	荘川地域	8	100.0	50.0	12.5	50.0	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0
	一之宮地域	9	66.7	44.4	44.4	77.8	0.0	22.2	22.2	11.1	0.0	11.1
	久々野地域	14	64.3	28.6	57.1	50.0	7.1	21.4	7.1	21.4	7.1	0.0
	朝日地域	6	33.3	33.3	66.7	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	高根地域	2	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	国府地域	35	77.1	45.7	34.3	51.4	20.0	14.3	11.4	11.4	11.4	2.9
	上宝・ 奥飛騨温泉郷地域	16	62.5	56.3	31.3	43.8	6.3	0.0	0.0	18.8	18.8	0.0
全体	493	65.5	49.1	41.4	57.2	14.4	10.3	11.8	14.0	8.1	1.8	

傾向

- 全体としては「広報たかやま（65.5%）」と「SNS（57.2%）」が高い。次いで「市ホームページ（49.1%）」や「メール（41.4%）」も高い。一方でヒッツFM、CATV、防災行政無線、一般の新聞/TV/ラジオ、関係団体が発行する印刷物は約2割以下に留まる。
- 年代別においては、10代～50代は「SNS」志向が最も高く、60代以降は「広報たかやま」が最も選ばれている。「市ホームページ」はどの年代も約半数が希望している。
- 居住地域別においては、「ヒッツFM」が丹生川地域で31.6%とほかの地域より高い。「CATV」は一之宮地域と久々野地域で2割を超える。

Q35.市の広報活動全般についてご意見があればご記入ください

防災行政無線・ラジオについて
音が反響して内容がわからない（雨天時は特に）
地域によっては全く聞こえない（久々野・国府・奥飛驒など）
緊急時に役に立たないのでと不安がある
LINE やアプリでの同時配信を希望
家庭用ラジオの配布を希望

市ホームページについて
検索しても目的の情報に辿りつけない
PDF が重く、スマホで見づらい
説明文が難しく理解しづらい

SNS について
発信頻度が少ない
イベント情報を前日や当日にも発信してほしい
ライブ映像での情報提供（イベント・災害など）
クマ出没・除雪・道路状況などリアルタイムに発信してほしい
メールと LINE との役割分担が不明

広報たかやまについて
写真・イラスト・漫画が多い
イラスト等が増え読みやすくなった
情報が散らばっており読みにくい
月 1 回発行になって厚くなり読む気がしない
ペーパーレスもよいが正確に読めるのは紙であり、特に高齢者は紙が必須
新聞を取っていない家庭に届いていない
集合住宅で配布されなくなった
町内配布に切り替えてほしい
行政のための情報発信ではなく、市民のための情報発信であるため市民の困りごとや疑問からスタートして整理してほしい

情報発信の内容に関して
生活に直結する情報がほしい（積雪・除雪・道路情報・河川状況）
災害時の避難情報の迅速性を求める
イベント情報の発信を増やしてほしい
助成金・補助金の周知不足

地域差について

旧市街地と周辺地域での広報活動量に差を感じる

奥飛騨や荘川などは情報が少ない

地域ごとの困りごとを拾ってほしい

媒体の見直し

紙は必要な人だけに配布し電子化を推進してほしい

災害時に最新の情報が得られる単発の情報ツールが欲しい。何かしらからアクセスしてから情報にたどり着くのではなく、アプリなどを立ち上げたらすぐに情報取得できるものを希望

その他

ヒットネット TV に字幕をつけてほしい

子育て情報をもっと発信してほしい